

健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値	現状値	事業	評価	評価及び課題	データヘルス計画後半の取り組み方向
			H28	R1				
<p>・特定健診受診率が44.0%で国の目標値60%に達していない。また、特定保健指導実施率も48.5%で平成28年度と比較して下がっている。</p> <p>・一人あたりの入院医療費が高い。</p> <p>・脳梗塞・脳出血の医療費に占める割合が県や国に比べて高い。</p>	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	44.7%	44.0%	特定健診・特定保健指導	D	特定健診受診率は横ばいで、特定保健指導実施率については減少傾向であり、目標値に達していない状況である。人間ドック受診者の特定保健指導利用率(特に40代～50代)が低い。	医療機関への定期的受診者を特定健診へつなげられるよう受診勧奨方法を検討する。40代～50代の働き盛りの方たちへのアプローチ方法を検討し介入していく。
		特定保健指導実施率60%以上	61.7%	48.5%		D		
		特定保健指導対象者の減少率25%	34.3%	37.5%		D		
	適正受診を推進し、重症化して入院する患者を減らす	入院医療費の伸び率を国並みの3%とする	20.2%	18.9%	重症化予防	B	入院医療費の伸び率については、少しずつ改善傾向にあるが、悪性新生物や脳血管疾患の入院費が上位を占めている。	がん検診への受診勧奨や重症化予防を重点的に取り組んでいく。 【目標変更】 入院医療費の伸び率を国並みの10%とする ※国の伸び率が変更したため
		必要な医療勧奨を行い入院外医療費を伸ばさず5%	14.6%	8.2%		D		
	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合5%減少	2.3%	3.1%	重症化予防	D	虚血性心疾患や脳血管疾患の割合は増加傾向であり、県や国と比べ医療費に占める割合が高くなっている。糖尿病性腎症による透析導入者の割合は改善傾向にある。問題を解決するための目標を見直し、目標値を変更する。	ハイリスク者については早めに医療機関受診や生活習慣改善につなげられるようアプローチし重症化予防を行う。 【目標値変更】 ・脳血管疾患の総医療費に占める割合2% ・虚血性心疾患の総医療費に占める割合1% ・糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少3% ・健診受診者の高血圧の割合減少5%(160/100以上)については、目標達成のため割合の目標を3%に変更する。
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合5%減少	1.5%	1.7%		D		
		糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少10%	6.4%	5.0%		B		
	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	健診受診者の高血圧の割合減少5%(160/100以上)	5.3%	4.5%	特定健診・特定保健指導	A	高血圧者の割合については、目標達成。目標の変更を行う。脂質異常症・糖尿病有病者の割合は増加傾向にある。	引き続きメタボリックシンドロームや予備軍の減少に向け取り組んでいく。
		健診受診者の脂質異常者の割合減少5%(LDL160以上)	9.0%	11.6%		D		
		健診受診者の糖尿病有病者の割合減少5%(HbA1c6.5以上)	6.2%	10.2%		D		
		メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	10.7%	6.8%	重症化予防	D	年々増加傾向にある。	医療機関と連携しながらコントロール不良者や治療中断者へのアプローチを重点的に行う。 【目標変更】 糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合の目標値を変更する。
		糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合100%		42.9%		E		
		糖尿病の保健指導を実施した割合10%以上		5.3%		E		

※評価基準 (A:目標に達した B:目標に達していないが、改善傾向にある C:変わらない D:悪化した E:評価困難)